

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年4月15日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691500161
法人名	医療法人 大誠会
事業所名	グループホーム馥郁(ふくいく)
所在地	鹿児島県薩摩川内市平佐一丁目112番 (電話) 09996-29-5077
自己評価作成日	平成30年2月8日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成30年3月24日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者一人一人のBPSDを理解し共感することで、利用者に対する応じる力を発揮し、伸ばす様、認知症、中核症状の学びを行なっている。常勤・パートの看護師を5名配置し、インシュリン処置に対応、訪問看護とも連携し、疾病に対し、素早く対応できている。又、その事で、ご利用者、家族にも安心して生活できる環境である。利用者一人一人の役割をスタッフと話し合い、見出し本人の尊厳を大切にしている。

- 母体法人は、職員育成やスキルアップを図るため、外部講師と契約しグループホーム職員向けの研修にも力を入れている。職員は、毎月研修テーマをもとに発表者を決めて内部研修にて自己研鑽にも努めている。
- 重度化や終末期ケアへの取り組みは、入居時に、「重度化や看取りの指針」や「看取りケアについての同意書」「主治医への要望書」「重度化や看取に係るアンケート」を提示し説明した上で同意をいただいている。  
また、早い段階から利用者、家族、主治医を始めとする関係機関と話し合い納得のいく最期を迎えられるよう取り組んでいる。
- 身体拘束マニュアルがあり、勉強会に活用したり認知症の行動・心理症状を勉強会のテーマに関連して身体拘束の弊害等について共通認識を図るなどしている。玄関は施錠せず職員が、声かけや見守り、傾聴を重視して気持ちの安定を図り、安心して暮らしてもらえるよう取り組んでいる。
- 母体医療機関とのオンコール体制が構築されており、緊急時や夜間帯など24時間適切な医療が受けられ、看護師を配置し医療ニーズの高い利用者への対応や主治医や関係機関との連携を図っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	利用者、家族との信頼関係を作り、安心して生活できていると考える。	理念は、開設当初からのもので、法人の基本理念、基本方針を共有し、ホーム独自の理念がある。理念は、パンフレットやネームプレートの裏に明記し申し送り時に唱和して意識づけを図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会の方に誕生会、イベント時に参加していただいている。	自治会に加入し、回覧版を通じてホームの行事案内をしたり、地域の情報収集をしている。近隣の方から3ヶ月に1回、落語会などの誘いがあり職員が参加している。また、保育園児との交流、体験学習、ボランティアを受け入れるなど地域と日常的に交流している。次年度は、ホームの夏祭りを企画し、地域交流を促進したいと検討している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	自治体の活動には、参加しておらず生かしていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族と自治会の方と話す事で行なっている。	利用者は、離島や地区外からの入居者が多いため家族の参加が少ない。管理者は、家族へ会議の参加を呼びかける時、特に入所間もない利用者家族に理解を求め説明しながら声かけをするなど工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議などで市担当者とは話し、サービスの取り組みを行っている。	市担当者とは、面談や電話、メールなどで諸情報や研修案内をいただくなど協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は一切行っていない。対人センサー、見守りにて対応している。一回/月の話し合いの中でも対応を考え、取り組んでいる。	身体拘束マニュアルがあり、申し送り時や職員会議などで、身体拘束をしないケアの取り組みについて具体的な事例を上げて話し合っている。利用者は職員の見守りを受けながら自由に過ごしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体を観察、言動をスタッフ間で注意しあうことで、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	数名外部研修に参加。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入所時に誓約書を家族と一緒に読み説明を行ない不明な事はすぐ説明している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議で利用者ご家族の希望を聞き取り、対応可能なら行なっている。</p>	<p>敬老会やクリスマス会などの行事時に、家族と話す機会を設けて意見、要望、提案などを聞き取り、出された内容は、職員会議で話し合い運営に反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>事業計画等、話し合い評価し次年度の事業計画に反映させている。</p>	<p>職員は、有資格者も多く個々の目標に取り組むとともに毎年度の事業計画を実施し、評価結果をもとに次年度の取り組みを検討し、サービスの質の向上に活かしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>2回/年自己評価、人事考査を行ない、自己の目標に向けた取り組みを行なっているかチェックしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>院内勉強会の参加、月一回の勉強会をスタッフ個人が担当になり、行い、その補助を行なっている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>近隣のGH、老健とまれに交流を行なっている。夏祭りに参加。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に利用者、家族と話し合いアセスメントを行い、本人本意のケアプランを作成している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前に利用者、家族と話し合いアセスメントを行い、本人本意のケアプランを作成している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所前に利用者、家族と話し合いアセスメントを行い、本人本意のケアプランを作成している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の残された能力、得意とした役割を探し出し一緒に作業が行なえる様、サポートしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者、家族の間に入り、双方の想いを聞き、両者のサポートを行なっている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の家族に限らず、すべての人に面会いただいている。親戚、知人	家族に協力をいただきながら、近所の方が遊びに来られたり、携帯電話で連絡を取り合うことができるよう支援している。また、年賀状の代読や郵便物の取次ぎ、訪問理美容の方との馴染みの関係もある。墓参りは、家族に協力をもらっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お茶の時間やレクレーションを通じ利用者同士と利用者の間に職員が入り関わりを支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院で退所した後も主に管理者が入院施設に出向き、利用者、家族に接している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入所前の聞き取り、アセスメントシートを用い、把握に努めている。	言葉にして思いを伝えられる利用者が多い。職員は、利用者の思いに寄り添い、傾聴に努めるよう取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前に本人、家族に聞き取りを行ない、人となりを聞き出し、又、居宅事業所等より情報提供をしていただいている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入所前の生活スタイルを聞き取り、入所後の観察で把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアマネ、計画作成担当者が、アセスメントの結果を聞いて計画の作成を行ない、スタッフとカンファレンスを行ない見直しを行なっている。	面会時などに利用者や家族からの意向を確認し、職員のアセスメント結果を参考にモニタリングして、担当者会議で主治医や看護師などの意見も取り入れ、介護計画に反映させている。計画の見直しについては、カンファレンスを行い柔軟におこなっている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者個人の介護記録、チェック表を用い、情報の共有を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者、家族の「どうして欲しい」を相談を受けた時は、出来るだけ対応を行なっている。書類作成等、届出		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	社協等を通じてボランティア慰問を利用し入所者に楽しんでもらえている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診は、本人、家族が選ばれたかかりつけ医の受診を行ない、職員が間の連携を取っている。	本人、家族が希望するかかりつけ医であるが、法人の母体医療機関であることが利用者、家族の安心感に繋がっている。定期的な訪問診療、家族や職員の付き添いによる外来受診があり、オンコール体制にて24時間医療連携が図られている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	ホーム全体の朝の申送りで必ず看護スタッフが出勤している配置を行なっている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	利用者のかかりつけ医、入院した場合の入院先の連携室と連携を取りあっている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	疾病、加齢によるリスクを入所時、日頃より家族に説明を行なっている。	契約時、「重度化や看取りの指針」や「看取りケアについての同意書」、「主治医への要望書」「重度化や看取りに係るアンケート」を提示し、ホームの取り組み（方針）について説明し同意を得ている。また、早い段階から、利用者、家族、主治医や関係機関と十分に話し合いを行い、チーム支援に取り組んでいる。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	定期的には、行なっていない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防訓練 2回/年、法人全体の通報訓練、水害、災害時は同法人病院に避難と定めている。</p>	<p>災害マニュアルが整備され、法人の協力体制がある。予知可能な災害な災害については、法人医療機関が避難場所になっている。水、米、レトルト食品など備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	月に3回程度、外部より接遇講師に来てもらい、日常を見てもらいチェックを受けている。マニュアルを作っている。	外部講師を招き定期的に研修会を開催している。言葉の使い方や声かけに配慮するなどしている。居室の扉は本人の希望を聞き取り、本人本位に対応している。居室にトイレが設置され消臭機能もあるが、プライバシーには十分配慮したケアに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常での利用者の好み等を聞き出し食事、衣類の選択が利用者が行なえるようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴、食事、本人の都合やタイミングに合わせて提供している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	利用者と共に衣類の選択を行なっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好き嫌いを把握し、提供し、食べやすい形状を考えている。	ユニットで主菜と副菜を分けるなど料理を分担して作っており、法人の管理栄養士の献立を参考にしている。嗜好を把握し、食事形態を工夫するなどして、行事食や弁当、誕生日ケーキなど食が楽しめるよう取り組んでいる。また、包丁を使ったり、食材の下ごしらえやテーブルやお盆拭きを手伝いしていただいている。夏は、ソーメン流しに行ったり、家族と外食を楽しんだりしている。また、菜園でネギや人参などを栽培し調理に活用している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	同法人の管理栄養士の作る献立を用い、食事を作っている。水分摂取量も毎日チェックしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	介助が必要な利用者は食後スタッフが一緒にケアを行なっている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	各居室にトイレが設置されており出来るだけ利用者の力でトイレを使用していただいている。必要な場合は、2名で介助を行ないトイレを使用していただいている。	居室にトイレが設置されており、便器に消臭機能があるので臭いは気にならない。職員は、個々の排泄リズムを把握し、定時に誘導したり必要時に声かけし、居室で排泄介助したり、清拭、更衣介助するなど排泄の自立支援に努めている。また、小柄な利用者のために職員が牛乳パックを再利用し、足乗せ台を置き活用している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	天気、湿度の良い日は、散歩を行ない、乳製品を摂ってもらっている。又、必要な場合は、医師に報告を行ない薬剤の処方を受けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	3回/W隔日で予定をしているが、声かけをした時に本人が嫌がればタイミング、時間を変え、促しを行っている。	本人の希望や必要性に応じて入浴支援をしているが、基本的に週3回入浴介助している。また、入浴を好まない方もおられ、時間や人を変えタイミングをみて声かけし気持ちよく入浴していただけるよう取り組んでいる。同性介助にも配慮している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室で、利用者の状況で、午睡、入眠を本人のタイミングで行なってもらっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬手帳、服薬管理ファイルを作成し、内服の内容、作用、副作用の把握に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食後のお盆拭き、洗濯物たたみ等、利用者が行なえる役割を考え一緒にしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	正月、お盆等、自宅へ外泊、外出を家族にすすめ、行なっている。ドライブ、花見など、出かける機会を設けている。	天候の良い日は、近隣を散歩したり、買い物、ドライブに行っている。また、テラスでの外気浴や菜園を散策楽しんでいる。川内駅も近く、イベントを見に行ったり、初詣、花見、大綱引き見物など外出を計画的に実施し戸外に出かける機会を設けている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族に説明、納得してもらい可能な利用者には、現金を自己管理していただき、買物等に行ける様している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>携帯電話を待っている利用者もいる。又、自ら希望されたら、ホームより電話をかけている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有スペースは、明るく自然光が入り、天井も高く開放的な空間である。季節を感じさせる飾り付けを行なっている。</p>	<p>玄関・共用スペースなど建物全体が明るく清潔感にあふれている。地域交流スペースがあり、ガラス張りで開放感がある。リビングには、利用者の作品や季節の飾りつけ、案内文書などが掲示され、長ソファでテレビ鑑賞をしたり、対面キッチンの職員と会話しながら食材の下ごしらえをしている利用者もおられるなど生活感が得られる共有空間である。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>廊下、玄関に座れるものを置き、居室外で外を眺めたりする場がある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた私物を持ち込んでもらい、利用者が生活しやすい居心地の良い居室になっている。</p>	<p>居室入口には、顔写真入りネームプレートがあり、トイレや洗面台、タンスなどが整っている。ベットや寝具は、衛生面を考慮しリネンリースを利用している。横壁面にハンガーが設置してあり使い勝手が良い。利用者は、家族写真やテレビ、ラジオなどの馴染みの物を持ち込み居心地よく過ごしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>施設内バリアフリーで、居室床には、クッション材が入っている。</p>	/	/



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない